

◆ JPPA : 「2023 年度ポストプロダクション設備調査」の実施について **編集室 776 室 / MA 室 314 室 / グレーディング専用室 44 室が稼働**
 ~リニア編集室の大幅減 / ノンリニア編集室の増加が継続~

一般社団法人 日本ポストプロダクション協会
 会 長 三上 信一
 調査・事業委員会 委員長 甲斐 隼人

一般社団法人 日本ポストプロダクション協会 (JPPA) 調査・事業委員会はこのほど、2023 年度「ポストプロダクション設備調査」(2023 年 11 月の設備状況) の結果をまとめました。当調査は、JPPA 会員各社のポストプロダクション設備状況の動向を把握するとともに市場の変化を把握するために、2004 年度から隔年で実施し、2019 年度以降は毎年実施しています。

今回の 2023 年度調査は、正会員社 89 社 (2022 年度調査時は 90 社) に対して、2023 年 11 月現在の設備状況に関するアンケート調査を行ったもので、82 社 (同 85 社) から調査結果を得ることができました。

調査結果によると、ノンリニア編集室は 78 社が 687 室 (2022 年度は 81 社が 645 室) / リニア編集室は 25 社が 89 室 (同 32 社が 122 室) を保有し、合計 (編集室総数) は 776 室 (同 767 室) が稼働しています。また、MA ルー

ムは 76 社が 314 室 (同 77 社が 320 室)、グレーディング専用ルームは 16 社が 44 室 (同 18 社が 50 室) を稼働しています。なお、調査の回答社内訳は、会員社の新規入会・退会による増減や回答 / 非回答社の動向により変動があります。

編集室の総数は 2020 年度に初めて対前年比減となり、2022 年度まで減少傾向が続きましたが、2023 年度は 3 年ぶりにプラスに転じました。これは、リニア編集室が 2006 年度調査の 249 室をピークに減少傾向が続き、初の 2 桁台となる 89 室 (2022 年度は 122 室) の稼働となった一方で、ノンリニア編集室が 687 室 (同 645 室) と大幅な増加に転じたことによるものです。今回の調査では、リニア編集室を撤退して、その全室をノンリニア編集室に改修する社もあるなど、特徴的な動きが見られました。

また、全ノンリニア編集室のうち 4K 以上に対応する編集室は、59 社が 207 室 (2022 年度 205 室 / 2021 年度 186 室 / 2020 年度 176 室) を稼働しており、高画質化が継続している結果となりました。

※オフライン / オンライン編集室の区分は、設置するシステムによる区分ではなく、ポストプロダクション事業者が申告した運用区分によるものです。

※ 2019 年~ 2023 年調査の回答社内訳は、会員社の新規入会・退会などの増減や回答 / 非回答社の動向により同一ではありません。

ノンリニア編集室	年/回答社数	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
	編集室属性	回答社: 83社	回答社: 80社	回答社: 77社	回答社: 81社	回答社: 78社
	オンライン	318	314	342	329	363
	オン/オフライン	228	214	199	237	242
	オフライン	84	82	82	79	82
	計	630	610	623	645	687

リニア編集室	年/回答社数	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
	計	回答社: 37社	回答社: 33社	回答社: 31社	回答社: 32社	回答社: 25社
	計	197	170	152	122	89

編集室計(ノンリニア+リニア)	年/回答社数	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
	計	回答社: 83社	回答社: 80社	回答社: 81社	回答社: 85社	回答社: 78社
	計	827	780	775	767	776

MA ルーム	年/回答社数	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
	計	回答社: 79社	回答社: 77社	回答社: 72社	回答社: 77社	回答社: 76社
	計	305	307	297	320	314

グレーディングルーム	年/回答社数	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
	計	回答社: 20社	回答社: 18社	回答社: 17社	回答社: 18社	回答社: 16社
	計	48	49	46	50	44

※オフライン/オンライン編集室の区分は、設置するシステムによる区分ではなく、ポストプロダクション事業者が申告した運用区分によるものです。

※ 2019 年~ 2023 年調査の回答社内訳は、会員社の新規入会・退会などの増減や回答 / 非回答社の動向により同一ではありません。

◇ノンリニア編集室数は過去最大に、4K以上運用編集室は207室

ノンリニア編集室（回答社：78社）の総数は687室で、その内訳は、オンライン編集室が363室（2022年度329室）、オンライン/オフライン編集室が242室（同237室）、オフライン編集室が82室（同79室）でした。

ノンリニア編集室の総数は、近年では2015年度：496室/76社、2017年度：536室/80社、2019年度：630室/83社、2020年度：610室/80社、2021年度：623室/77社、2022年度：645室/81社と推移しています。また、調査開始初期の2006年度調査では、ノンリニア編集室は351室/72社が稼働し、専用システムによるハイエンドクラスのノンリニア編集室が約88%を占めていました。一方、2013年頃からミドルレンジクラスのノンリニア編集室が大きく増加して、ノンリニア編集室総数は過去最大になりました。

また、編集室の区分として「4K（以上）対応編集室」として回答しているのは207室/59社（2022年度は205室/58社）で増加傾向が続いています。なお、4K対応とは、編集ソフトによる対応ではなく、4K対応のマスターモニター設置といった4K視聴環境が整った編集室をカウントしています。

◇リニア編集室の減少傾向が続く

回答のあった82社のうち、リニア編集室を保有するのは25社で、その総数は89室（2022年度122室/回答社32社）で減少が続いています。リニア編集室総数のピークは2006年度調査の249室で、約65%減となりました。

なお、リニア/ノンリニアのハイブリッド編集室についても、リニア編集室としてカウントしています。調査回答では89室のうち81室がサブシステムとしてノンリニア編集システムを設置またはKVM運用しており、リニア編集単独での編集室は大きく減少していることがうかがえます。

◇MAルームは約38%がサラウンド対応に

2023年度のMAルーム（回答社：76社）の総数は314室で、119室/48社がサラウンドに対応できると回答がありました。また、サラウンド対応119室のうち、Dolby

Atmosに対応するのは17室となっています。なお、MAルーム総数は前年と比較して減少していますが、会員社の入・退会によるものです。

◇グレーディング専用ルームはほぼ横ばい、編集室のマルチ化が拡大

2023年度のグレーディング専用ルームは44室（回答社：16社）で、2022年度の50室/18社と比較して減少しました。これは、グレーディング専用ルームを有していた会員社の退会（閉鎖）と、専用ルームから編集/グレーディングのハイブリッド型への変更が要因です。また、グレーディングルーム44室のうち、4K対応マスターモニターは33式、4K対応の波形モニターは18式でした。また、スクリーン・プロジェクター方式のグレーディングルームも6室ありました。

なお、ここで計上しているグレーディングルームは専用室として運用している部屋であり、ノンリニア編集室にグレーディングシステムを併設している部屋は含んでいません。ノンリニア編集室687室のうち、グレーディングシステムを併設している部屋数は111室で、カラーグレーディングとフィニッシングを同時に行う編集スタイルの増加など、ワークフローの変化が背景にあり、編集室のマルチ化が進んでいると考えられます。

* * *

JPPA 会員社のポストプロダクション事業者は、テレビ番組、CM、VP、映画作品からインターネット配信向けまで、あらゆる分野のコンテンツ制作について、高精細でクオリティの高いポストプロダクション業務を提供することが可能です。今後もさらに、制作環境の変化に対して柔軟なポストプロダクションワークフローの構築に努めていきます。

◇一般社団法人 日本ポストプロダクション協会

<https://www.jppanet.or.jp/>

〒160-0014 東京都新宿区内藤町1番地 ガーデンクロス
新宿御苑7階 TEL：03-3355-6420

◆ ITG マーケティング：ゲームコラボ第2弾！ Samsung が『ドラゴンズドグマ 2』発売記念として「990 PRO ヒートシンクモデル」もしくは「990 PRO」の2TB 購入でコラボ収納ボックスを数量限定でプレゼント！

PS5 版は 3/22 (金)、PC 版は 4/1 (月) 予約受付開始



日本サムスン株式会社（本社：東京都港区）の販売代理店である ITG マーケティング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：福田 茂男）は、PCIe® 4.0 x4 に対応した M.2 (2280) フォームファクタの NVMe™ SSD 「Samsung 990 PRO with Heatsink」（以下「990 PRO ヒートシンクモデル」）もしくは「Samsung 990 PRO」（以下「990 PRO」）の 2TB に『ドラゴンズドグマ 2』コラボ収納ボックスが付いた数量限定モデルを販売いたします。

PS5 版の「990 PRO ヒートシンクモデル」コラボ収納ボックス付きは 2024 年 3 月 22 日（金）より予約受付開始、PC 版の「990 PRO」コラボ収納ボックス付きは 2024 年 4 月 1 日（月）より予約受付開始で、いずれも 4 月中旬より出荷いたします。

Samsung は「最高のゲーム体験をつくること」を掲げ、ゲームをプレイする環境だけではなく、ゲームに関わる、プレイヤー、クリエイター、すべての人を応援することで実現したいと考えています。その中で『Make Your GG』プロジェクトを始動し、様々なゲームメーカーとコラボを行っています。今回はその一環として、2024 年 3 月 22 日（金）に発売される『ドラゴンズドグマ 2』とコラボレーション。『ドラゴンズドグマ 2』は、2012 年 5 月に発売された『ドラゴンズドグマ』の正統続編で、王道ファンタジーの世界で自由な冒険を楽しむオープンワールドアクションとなります。

『ドラゴンズドグマ 2』コラボ収納ボックスは、外箱と内箱に各キャラクターが印刷された、この機会にしか手に入らない数量限定コラボアイテムです。ゲームソフト、周辺機器の収納はもちろん、テレビやデスク周辺のインテリアとしてもお使いいただけるデザインになっています。「990 PRO ヒートシンクモデル 2TB」*1 もしくは「990 PRO 2TB」*1 の購入者を対象にプレゼントいたします。

*1：コラボ収納ボックスのプレゼントモデルは従来の「990 PRO ヒートシンクモデル 2TB」および「990 PRO 2TB」とは異なる型番になっております。「ドラゴンズドグマ 2」コラボ収納ボックス付モデルをお買い求めください。

■『ドラゴンズドグマ 2』コラボ収納ボックス

素材：貼り箱 / サイズ（外寸）：幅 180mm × 奥行 180mm × 高さ 175mm / 『ドラゴンズドグマ 2』コラボ収納ボックスイメージ
『ドラゴンズドグマ 2』コラボ収納ボックス（外箱）展開図イメージ
※底面は無地となります。

■「990 PRO ヒートシンクモデル」「990 PRO」製品特長

PCIe® 4.0 SSD 最高峰クラスのパフォーマンス
「990 PRO ヒートシンクモデル」および「990 PRO」は、PCIe® 4.0 の最大パフォーマンスに匹敵する速さを誇り、最大 7,450MB/s のシーケンシャル読み出し速度、最大 6,900MB/s のシーケンシャル書き込み速度を実現します*1。

「990 PRO ヒートシンクモデル」は、スリムなヒートシンクが熱を放散し、過熱によるパフォーマンスの低下を防ぎます。グラフィックスの負荷が高いゲームでも、安定した熱制御と最小限のファンノイズ

を実現します。

「990 PRO」においては、ニッケルコーティングされたコントローラと最先端の熱制御アルゴリズムが熱を管理し、揺るぎないパフォーマンスを実現します。基板裏面のヒートスプレッダーラベルが NAND チップの熱を制御し、Dynamic Thermal Guard が温度を最適に保ちます。

*1：パフォーマンスは、SSD のファームウェアバージョン、システムのハードウェア構成や環境設定などによって異なる場合があります。パフォーマンス測定値は IOmeter 1.1.0 に基づいています。シーケンシャルおよびランダム書き込みのパフォーマンスは、Intelligent TurboWrite テクノロジーを有効にして測定しています。PlayStation®5 での動作を確認済み

PS5™の拡張スロットに「990 PRO ヒートシンクモデル」を取り付けることでストレージ容量を拡張し、PS5™および PS4®のゲームやメディアアプリをダウンロード、移動、起動することができます。PS5™（システムソフトウェア バージョン 24.01-08.60.00.04）における読み込み速度の測定では、6,500 MB/s を超えるパフォーマンスを ITG マーケティングにて確認*1 しております。

*1：本製品は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントのライセンスプログラムの下で開発された商品ではございません。互換性や高速性能は、すべてのゲームタイトルにおいて保証するものではありません。

困ったときは「サムスン SSD サポートセンター」があなたをしっかりとサポート サポートセンターによる電話対応、製品検査など万全のサポート体制を敷いています。

サムスン SSD サポートセンター 050-3116-3031

受付時間 09：00~17：00 月曜日~金曜日（祝・祭日を除く）

■『ドラゴンズドグマ 2』について

カブコンから 2024 年 3 月 22 日に PlayStation 5/Xbox Series X/S/PC にて発売予定の『ドラゴンズドグマ 2』は、2012 年 5 月に発売された『ドラゴンズドグマ』の正統続編。

累計販売本数 720 万本（2022 年 12 月時点）*1 を超える「ドラゴンズドグマ」は王道ファンタジーの世界で自由な冒険を楽しむオープンワールドアクションです。その楽しみを受け継いだ『ドラゴンズドグマ 2』では、RE ENGINE と最新ハードが生み出す、圧倒的な実在感、物理演算、AI によって緻密に織り上げられた王道ファンタジーの世界をお楽しみいただけます。

ポーンと共に無二の冒険へ、さあ踏み出そう。

【商品概要】

- ・商品名：ドラゴンズドグマ 2
- ・発売日：2024 年 3 月 22 日（金）
- ・発売元：カブコン
- ・対応ハード：PlayStation 5、Xbox Series X|S、Steam
- ・ジャンル：オープンワールドアクション
- ・価格：通常版 / ダウンロード版 希望小売価格：8,990 円（税込）
通常版 / パッケージ版 希望小売価格：9,889 円（税込）
- ※ PlayStation 5 のみ発売

デラックスエディション / ダウンロード版 希望小売価格：9,990 円（税込）

・CERO：D（17 才以上対象）

『ドラゴンズドグマ 2』公式 WEB サイト：

<https://www.dragonsdogma.com/2/ja-jp/>

© CAPCOM

※ “PlayStation” および “PS5” は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの商標または登録商標です。

*1：パッケージソフト出荷数とダウンロード販売数の合計

■製品ラインナップ

製品	容量	型番	価格	想定価格（税込）
『ドラゴンズドグマ 2』コラボ収納ボックス付 Samsung 990 PRO ヒートシンクモデル	2TB	MZ-V9P2T0G-DD2B0X-IT MZ-V9P2T0G-DD2B0X-IT/EC	オープン プライス	29,980 円
『ドラゴンズドグマ 2』コラボ収納ボックス付 Samsung 990 PRO	2TB	MZ-V9P2T0B-DD2B0X-IT MZ-V9P2T0B-DD2B0X-IT/EC	オープン プライス	27,480 円

◆ゼンハイザー：Sonova Consumer Hearing Japan 新商品情報

商品名：MOMENTUM Sport

発売日：2024年4月9日 価格：オープンブライス

店頭想定価格：54,500円（税抜き）59,950円（税込み）



全てのアスリートへ捧げる

革新的パフォーマンストラッキングセンサーと質の高いサウンド、そしてタフさを融合させ、アスリートのパフォーマンスをさらに引き上げる本格派の新しいスポーツ用セミオープン型ワイヤレスイヤホン、MOMENTUM Sport がゼンハイザーから登場。上質な音楽に加えて心拍数と体温の測定・モニタリングの全てがこの一台のデバイスで可能。本格的なアスリートからライトなユーザーまで、スポーツ・エクササイズを愛する全ての人にお届けするスマートな一台。

パフォーマンスを引き出す上質サウンド

ゼンハイザーのサウンドエキスパートは MOMENTUM Sport 用に True Wireless イヤホン初となる 10mm 口径の TrueResponse ドライバーを新規に自社開発。インピーダンスを 12 Ω にしたコイルと HD 560S などのオーディオファイル製品に採用しているブレンドした振動板素材を採用。今までのドライバーと比較してより大きなマグネットとコイルで、力強い振動板の動きを創出し、これにより体を動かすことで発生する様々なノイズに負けず、運動時に適した豊かでレスポンスの良い低音再生を実現。

自分の呼吸や足音の聞こえを低減するゼンハイザー初の 100% セミオープン型ワイヤレスイヤホン

また MOMENTUM Sport はスポーツ用に音響システムを構築。アコースティックリリーフチャンネルで空気の流れを高めてオクルージョン効果を低減する 100% セミオープン型のゼンハイザー初のワイヤレスイヤホン。これにより密閉型・カナル型イヤホンで起こる自分の足音や呼吸、その他の体から発生されるノイズを抑えます。高めたエアフローにより損失される低域を上記した新しい 10mm ドライバーでしっかりとカバーし、自分の体から出るノイズを抑えながらも豊かな低域を感じることができます。

心拍数と体温を測定できるパフォーマンストラッキングセンサー

MOMENTUM Sport が他のワイヤレスイヤホンと一線を画すもう一つの大きなポイントはその革新性です。このワイヤレスイヤホンに搭載しているパフォーマンストラッキングセンサーにより心拍数と体温を測定することができます。フォトプレチスモグラフィ=PPG（光電式容積脈波記録法）で心拍数を計測し、NTC 温度センサーで体温を計測。運動中（それ以外の時間）の時間をリアルタイムで得ることができます。体温測定においては耳の中は手首よりも正確に測ることができるとされており、MOMENTUM Sport は + / - 0.3℃ 内の正確性で体温をモニタリングすることが可能です。

また耳は人間の体の重要な部分に近いこと、耳の皮膚は薄いため血管に近いこと、そして内耳は光の影響を比較的受けにくく、安定した場所であることから、より正確で一貫した測定をすることができます。他のデバイスを加えることなく、MOMENTUM Sport 一台で心拍数と体温をモニタリングすることができます。

IP55 でタフで力強く快適な装着感

IP55 の防滴・防塵レベルなので悪天候などの厳しい環境下でのトレーニングや運動でも共に立ち向かうことができます。加えて、衝撃テストや落下テストなど様々なテストを行い、MOMENTUM Sport のタフさを確認しています。さらに装着感は Sonova のリサーチセンターになる数千以上の耳の形のデータをベースに運動使用に最適なシェイプの開発を行い、激しい運動でも安定感のある高いフィット感とずれにくく、落下しづらいフォルムになっています。またシリコン素材の 3 サイズのイヤピースと 4 サイズのイヤフィンで自分にあった装着感をカスタマイズをすることで自分にぴったりの付け心地を高めることが可能です。

様々なエクササイズアプリに接続

MOMENTUM Sport は Garmin のスマートウォッチや Apple Watch、Strava アプリなど様々なフィットネスデバイスとシームレスに接続することができます。また Polar が提供する Polar Flow にも対応しているため Polar の特定の製品と接続することでさらに深いあるトラッキングをすることが可能となります。

ハイブリッドアダプティブノイズキャンセリングと外音取り込み機能搭載

MOMENTUM Sport はハイブリッドアダプティブノイズキャンセリング機能を搭載。周囲のノイズレベルに合わせてノイズキャンセリングの強度を自動で調整。一人で集中したい時は ANC をオンにすることにより周囲の音を大幅に低減します。またランニングや周りに人がいるときなど、周囲の音や声を聞きたいときは外音取り込み機能に切り替えることで外の世界の音が聞こえるようになります。スポーツする場所や環境によって使い分けすることができます。

豊富なコーデックにも対応

MOMENTUM Sport は AAC、SBC の基本コーデックはもちろん、aptX adaptive にも対応しているため、運動中にも妥協のない解像度の高い音質で日々のエクササイズを高めることができます。『スポーツ用ワイヤレスイヤホンの音質は良くない』という既成概念をゼンハイザーの音質の高さとコーデックで一歩も二歩も引き上げます。

最大 24 時間再生の頼れるバッテリー

MOMENTUM Sport はイヤホン単体で約 6 時間、ケース併用で約 24 時間の再生が可能ですので、トレーニング中はもちろん、移動中やリラックスしているときなどあらゆるシーンでお使いいただくことができます。

運動中でも高い操作性

ワイヤレスイヤホンをタッチするだけで曲の再生・停止やノイズキャンセリングや外音取り込みの切り替えをすることができますが、ランニングや筋トレなど、激しい運動中に正確にイヤホンにタッチすることができなくても装着しているイヤホンの近くの耳をタップするだけでも操作することができるので運動中の揺れなどで正確なタッチができなくても安心です。

<アイテムスペック>

商品名	MOMENTUM Sport	
	MSPORT1 Black	MSPORT1 Olive
型番	MSPORT1 Black	MSPORT1 Olive
JANコード	4260752331753	4260752331777
Art No.	700304	700306
型式	ダイナミック・カナル型（セミオープン型）	
周波数特性	15 ~ 18,000 Hz	
感度	110 dB SPL (1 kHz / 0 dBFS)	
保証期間	2年	
無線規格	Bluetooth 5.2 + Class 1	
コーデック	SBC, AAC, aptX™, aptX™ Adaptive	
動作時間	イヤホン本体：最大6時間 / ケース併用で最大24時間 (iPhoneポリアームド)	
充電時間	1.5時間（フルチャージ） / 10分（45分動作）	
IP規格	イヤホン：IP55 チャージングケース：IP54	
付属品	USB-C充電ケーブル、ストラップ イヤピース（S, M, L）、イヤフィンセット（N, S, M, L）	
本体重量 （イヤホン2ヶ + ケース）	約 91.0 g （約12.6 g + 約78.4 g）	
パッケージサイズ	135 × 96 × 42 mm	
パッケージ重量	約 196.5 g	
対応アプリ	Smart Control（スマートコントロール）	

◆朋栄：MoIP 制御監視ソフトウェア SOM-200 シリーズを発表

ブロードキャストコントローラー SOM-200BC、NMOS RDS ソフトウェア SOM-200RDS を核に MoIP 環境を統合株式会社朋栄（代表取締役社長：清原克明、本社：東京都渋谷区）は、IP 制御監視ソフトウェア SOM-200 シリーズを発表いたしました。SOM-200 シリーズは、ブロードキャストコントローラー『SOM-200BC』とネットワークコントローラーオプション『SOM-20NC』、NMOS RDS ソフトウェア『SOM-200RDS』と RDS フィルタリング API オプション『SOM-20RDS Plus』で構成され、それぞれを連携させることにより、Media over IP システムコントローラー機能を実現します。近年、Media over IP（以下 MoIP）環境で使用される IP 方式は標準化が進み、SMPTE ST 2022-6、ST 2110 によるメディア伝送と AMWA NMOS IS-04/05 による MoIP 機器の参照と制御が活用されています。SOM-200 シリーズは、これまでの標準化が進んでいく段階で各ベンダーが構築した既存 MoIP 環境を生かしながら、次世代の MoIP 環境への段階的な移行を可能にし、既存の MoIP システムを構築したベンダーに縛られないマルチベンダー環境を実現することを目指して開発されました。大きな特長に以下の 4 つが挙げられます。

- ① SMPTE、AMWA の標準に準拠した MoIP 環境を追加できるようにする。
- ② 帯域管理 / 経路制御を行い安定したネットワーク運用を可能にする。
- ③ 既存の MoIP 環境に手を加えることなく、アイランド / セグメントをまたいで機器リソースを共有可能にする。
- ④ 機器を使用する人的リソースの配置効率化も含めた制作ワークフローの改善を可能にする。

■ MoIP システム全体の運用をサポートするブロードキャストコントローラー『SOM-200BC』

朋栄は 2018 年から、SDI と SMPTE ST 2022-6 の変換を含む SDI/IP 統合制御監視ソフトウェア SOM-100 を提供してきました。今回、SDI 環境と MoIP 環境の統合を目指した SOM-100 のワークフローを活かしながら、SMPTE ST 2022-6、ST2110 および NMOS IS-04/05 に完全対応させたブロードキャストコントローラー『SOM-200BC』を提供します。

SOM-200BC は、使用者の役割に応じて権限を設定できるユーザー管理機能を搭載し、複数アイランドのシステムを統括的に管理し、運用を支援します。使用中の機器や共有可能な機器を視覚的に分かりやすく表示する GUI を採用したことにより、ネットワーク技術者による設定 / 運用 / メンテナンスだけでなく、あらかじめ設定した機器構成を制作者が切り替えて運用できます。

さらに、指定時間にマトリクス切替を行う回線ブッキング機能や、SDI ルーター、ゲートウェイ、マルチビューワーなどの機器制御、タリー、機器制御用リモコン割り付けなどのオプションを設定しています。NMOS 機器の仮想化や、複数の仮想マトリクス作成により、さまざまなワークフローに対応でき、フレキシブルに機材の変更や追加が可能です。回線設備、ライブ制作、CG 制作、ファイルベース運用も含めた制作ワークフロー全体で MoIP 機材の統合管理 / 制御が可能となりました。

SOM-200BC は、耐障害性を担保するため複数を使用したクラスタリング構成をとることができ、障害発生時にはシームレスに制御が切り替わります。SOM-200BC には 5 台分の被制御機器ライセンスが含まれますが、MoIP システム規模に応じた SOM-20DEV オプションで機器台数分 / 複数モジュール数分のライセンスを追加し、SOM-200BC の制御範囲を拡大可能にします。

品名：ブロードキャストコントローラー制御対象機器追加オプション
ネットワークコントローラーオプション

型名：SOM-200BC SOM-20DEV SOM-20NC

発売時期：2024 年秋 2024 年秋 2024 年秋

価格：システム構成による 10 万円（税別）150 万円（税別）

備考：MoIP 環境で使用できる機能に応じたカスタマイズ提供となります。

主系 / 従系いずれにも利用可能です。

被制御機器用ライセンス 5 台分を含む。

制御機器 / モジュールを追加する

SOM-200BC 用オプション。

追加機器 / モジュール台数に応じ、主系用 / 従系用それぞれに必要。

ネットワーク帯域制御、経路制御の SOM-200BC 用オプション。

■ MoIP システムの packets 送受信を円滑化するネットワークコントローラーオプション『SOM-20NC』

SOM-200BC と連携して動作するオプションの 1 つに、ネットワークコントローラーオプション『SOM-20NC』があります。

SOM-20NC は、ネットワークスイッチ間の帯域を管理しながら、パケットが帯域を超えないように経路制御を行うことで使用する帯域を分散させ、ネットワークを最適化します。さらに、IGMP/SSM プロトコルにより、想定外の MoIP デバイスからのパケットをブロックして、パケットフローの発生を抑えるためのフィルターも実装。安定したネットワーク環境を実現します。

■ ST 2110 環境の MoIP 機器を管理する NMOS RDS ソフトウェア『SOM-200RDS』

ST 2110 で組まれた MoIP システムの運用においては、RDS (Registration and Discovery System) が必要不可欠です。

各アイランド / セグメントにあるブロードキャストコントローラーは、RDS に登録、管理されている MoIP 機器リソースの IP アドレス情報を参照しながら、MoIP 機器を制御しています。この MoIP 機器を登録 / 管理する標準 RDS として、SOM-200RDS を提供します。

SOM-200RDS は、RDS フィルタリング API オプション『SOM-20RDS Plus』を追加することにより、共有機器リソースのみを登録するための RDS として機能し、共有機器リソースを複数のアイランド / セグメント内の MoIP システム環境でシェアする『階層型 RDS』(Hierarchical RDS、略称 Hi-RDS) の仕組みを提供します。

品名：NMOS RDS ソフトウェア RDS フィルタリング API オプション

型名：SOM-200RDS SOM-20RDS Plus

発売時期：2024 年秋 2024 年秋

価格：60 万円（税別）140 万円（税別）

備考：階層型 RDS 機能を追加するための SOM-200RDS 用オプション

■ マルチベンダーシステム間のリソースシェアを実現する RDS フィルタリング API オプション『SOM-20RDS Plus』

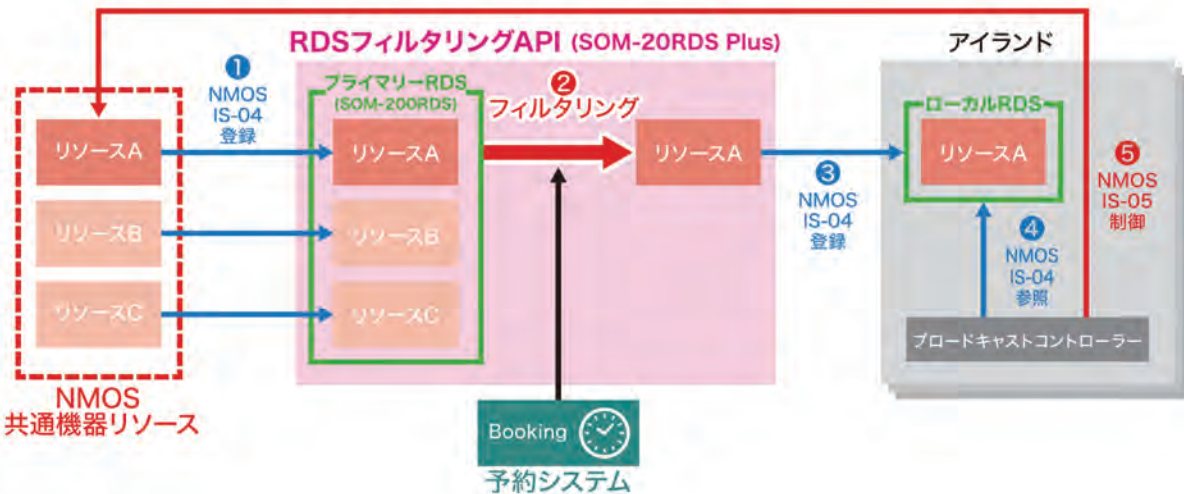
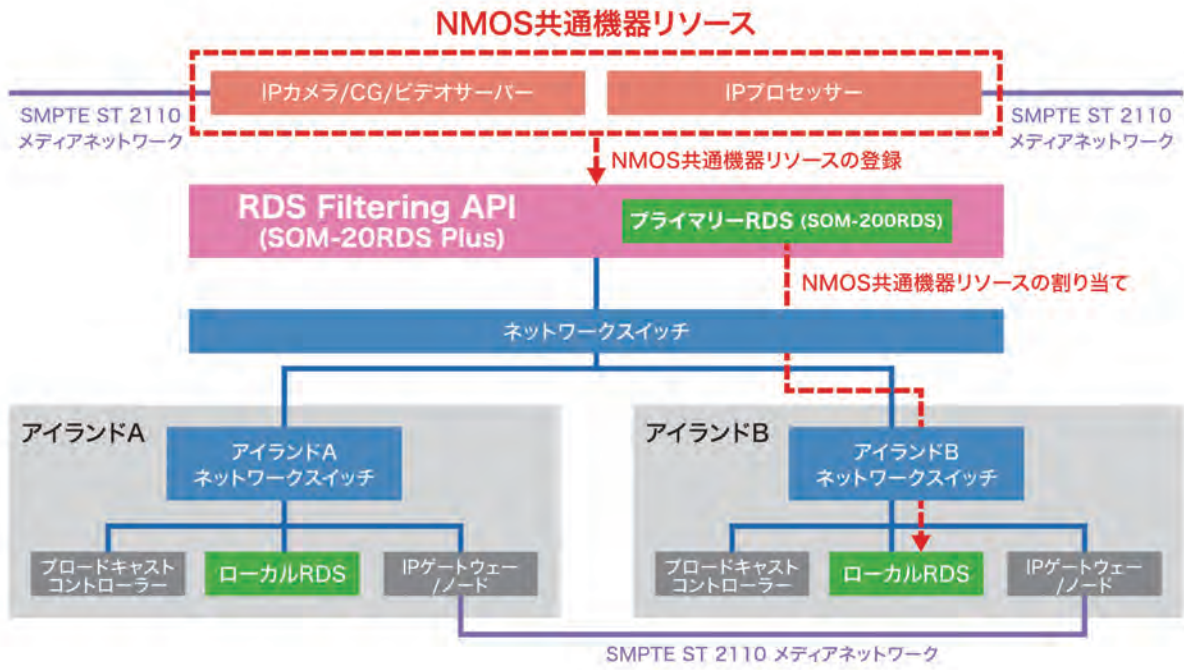
SMPTE、AMWA により標準化が進められている MoIP 環境ですが、放送局の設備全体を同時に MoIP システムへと更新することは、放送局施設を新規に構築するケースに限定されます。そのため、ベースバンド機器の更新タイミングに合わせて設備を

MoIP システムに変更したり、既存 MoIP システムから標準化された MoIP システムへの更新など、設備の耐用年数に応じて順次システムの入れ替えが行われています。

MoIP システムはこれまで、システムを設計・構築したベンダー各社それぞれの設計思想に応じたブロードキャストコントローラーや RDS が活用されてきました。そのため、新規システムを追加導入するためには、既存のブロードキャストコントローラーや RDS の設計変更が必要になり、最初にシステム構築したベンダーに依存した「ベ

ンダーロック」でのシステム構築が必要でした。
 朋栄は、SMPTE ST 2110 および NMOS IS-04/05 に対応した各社の MoIP 機器を自由にワークフローに組み込んで活用し、より汎用で使いやすい MoIP システムを構築することができるよう、SOM-200RDS のオプションとして、RDS フィルタリング API オプション『SOM-20RDS Plus』を開発。この SOM-20RDS Plus オプションを SOM-200RDS に組み込むことにより、次世代のリソースシェア環境を実現可能な『階層型 RDS (Hi-RDS)』環境を提供します。
 SOM-200RDS/SOM-20RDS Plus による階層型 RDS は、NMOS 標準規格に準拠した動作でリソースシェアを実現していることが大きな特長です。既存の MoIP システムが NMOS に対応してさえいれば、あとから階層型 RDS の仕組みを取り入れて共通機器リソースのシェアリングを実現することも可能です。
 階層型 RDS は、SOM-200RDS がリソースシェア対象となる共有

機器の一次登録先としてのプライマリー RDS となり、共通機器リソースを利用するアイランド/セグメント内にあるベンダー各社の標準 RDS をローカル RDS とする階層構造を採ります。
 SOM-20RDS Plus は、プライマリー RDS に登録された共通機器リソースのなかから必要とされる機器情報だけをフィルタリングして、ローカル RDS に割り当てる動作を行います。各アイランド/セグメント内にあるブロードキャストコントローラーは、ローカル RDS に登録された共有機器情報をもとにして NMOS IS-05 での制御が可能となりますので、既存システムを変更することなくリソースシェアを実現します。
【報道関係者からのお問い合わせ】
 株式会社朋栄 マーケティング本部 広報部 TEL : 03-3446-3528
 e-mail : ad@for-a.co.jp
【製品に関するお問い合わせ】 株式会社朋栄 国内営業本部 TEL : 03-3446-3121 FAX : 03-3446-4451 e-mail : ad@for-a.co.jp





2012年12月で絶筆となった
倉地紀子著「CGコンテンツ」
本誌月刊FDIで2022年4月蘇る!!



本誌「月刊FDI」にて、2002年4月号から2012年12月号まで連載していた倉地紀子著「CGコンテンツ」129編(564頁)は、連載開始から20年、また11年に亘った連載が絶筆となってから本年度で10年目の節目となりました。これを基に2022年4月号(272号)から本文に再掲載し、全記事内容を当時のままに、2巻にまとめて発行することと致しました。

なお、当誌にて掲載しております写真図版等はモノクロ印刷となっておりますが、当時は全頁カラー印刷でした。なお、その他の掲載内容は、当時のままといたしましたので、技術面での記載内容などが現状と異なる場合がありますのでご了承ください。

※フッターに掲載年月を表記してあります。

FDI2013ANNEXPART. 1

CGコンテンツ 総集編(PART 1)

2002.04「モンスターズ・インク：テクノロジー・イン・デプス」-アーティストィックなりアリズムをつくりだした影の主役たち
～2008.03 3DCG映画の成熟-映画「ビー・ムービー」のCG技術

72編 285頁 頒価5,000円(消費税込み)

FDI2013ANNEXPART. 2

CGコンテンツ 総集編(PART 2)

2008.04「IMAGINA2008」(前編) — イマジナワードとR&Dセッション—
～2012.12「フランケンウィニー」— ストップモーション・アニメーションの醍醐味を支えたVFX(絶筆)

57編 279頁 頒価5,000円(消費税込み)

※書店及びネットでは販売しておりません。お申し込みは、お問い合わせは、E-mail : editor@uni-w.com 月刊FDI編集部までご連絡ください。